

平成27年度 南区地域福祉計画アクションプラン(2015~2020)  
南区福祉分野別計画評価表

資料1

分野別区分	児童・子育て支援
大項目	安心して子育てできるまち
小項目	子育て世帯が孤立しないまちづくり

課題	取り組み内容	小項目に対する 年度評価	今後の課題等
子育て相談, 支援に関する情報提供	妊娠届出時から南区独自の子育て応援冊子[みんないっしょ]を配布し, 健診, 育児相談会及び保健師や助産師による訪問などの機会を利用し, 子育てに関する情報を提供した。	B	健診や育児相談会, 訪問等で情報提供はしているが, その情報を生かし, 孤立せず子育てができていくか今後も検証していく必要がある。
子育て支援制度の充実	NP, BPプログラム, 子育て広場等を実施したり, 健診時には悩みを相談できる場をつかって, 母親が孤立しないように支援した。		
同世代の親同士の意識づくり	健診や育児相談会, NP, BPプログラム, 子育て広場に参加することで, 同じ子育て中の親同士の仲間づくりにつながった。		

A	年度目標90%以上達成
B	年度目標75%以上達成
C	年度目標50%以上達成
D	年度目標50%未満

平成27年度 南区地域福祉計画アクションプラン(2015～2020)  
南区福祉分野別計画評価表

分野別区分	児童・子育て支援
大項目	安心して子育てできるまち
小項目	地域で支えるゆとりを持った子育てができるまち

課題	取り組み内容	小項目に対する 年度評価	今後の課題等
父親や家族の育児への参画	年3回の安産教室に、各回定員15人のところ1回あたり平均12人の父親参加があり、育児への参画の第一歩となっている。 家族の協力はかかせないので、安産教室や健診等を利用して、父親や家族の育児参加を啓発した。	B	現在取り組んでいる安産教室、子育て支援リーダーによる子育て広場、NPプログラムなどを継続して実施し、母親や家族が気兼ねなく参加できるようにする。 社会福祉協議会が支援する子育てサロンの交流会等、開催日時、開催方法を検討し、子育てについて情報共有できるようにする。
地域からの声かけによる育児支援	子育て支援リーダーによる子育て広場などが、子育て中の保護者の居場所、地域との関わり場となっている。地域の子育て支援リーダーの育成と活動を支援した。		
子育てサロンやサークル活動などへの支援	サロン・サークルの活動を紹介するポスターを作成し、子育て支援センター、児童センター(4か所)へ配付し、周知を行った。サロン・サークルの交流会を通して、親子で生演奏を楽しみ、活動の情報交換を行った。また子育てに関する相談機関として地域の主任児童委員や子育て支援センター、児童センター職員等との意見交換を行い、いつでも気軽に育児相談等ができることや、イベント等の情報提供を行うなど支援をした。		

A	年度目標90%以上達成
B	年度目標75%以上達成
C	年度目標50%以上達成
D	年度目標50%未満

平成27年度 南区地域福祉計画アクションプラン(2015~2020)  
南区福祉分野別計画評価表

分野別区分	児童・子育て支援
大項目	安心して子育てできるまち
小項目	子育て支援施設・事業の充実

課題	取り組み内容	小項目に対する 年度評価	今後の課題等
子どもに関する悩みについてアドバイス	健診や育児相談会、保健師や助産師による訪問及び子育て広場などの機会に育児支援を行った。	B	ファミリーサポートの支援者の数が年々減少しており、支援者に対するアプローチが必要である。また、健診や新生児訪問は、ほぼ全員に実施しているが、育児相談会や子育て支援センターなどは希望者の参加になる。相談ができず一人で悩んでいる人がいないようにしていく必要がある。
子どもが安心して遊べる環境	児童館、児童センター、子育て支援センターなどの利用者からの声や施設担当による点検をもとに、利用しやすいように施設の改善を図った。		
子育て支援施設や事業の内容の周知が不十分	ファミリーサポートセンターによる子育て支援の事業をホームページで情報を提供した。保育園の園開放や児童館のイベントなどの機会を利用し、子育てに関する情報を提供した。		

A	年度目標90%以上達成
B	年度目標75%以上達成
C	年度目標50%以上達成
D	年度目標50%未満

平成27年度 南区地域福祉計画アクションプラン(2015～2020)  
南区福祉分野別計画評価表

分野別区分	障がい福祉
大項目	障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち
小項目	福祉サービス利用の相談体制充実

課題	取り組み内容	小項目に対する 年度評価	今後の課題等
相談支援事業者等の周知	・基幹相談支援センターを周知する手段として、チラシを窓口を設置している。また相談内容や連絡先等を区だよりへ掲載をした。社協だよりは紙面の都合で掲載できなかったが、引き続き平成28年度も掲載予定である。	C	身近な地域から相談支援につなげるため、平成28年度は、民生委員等を対象に研修会を開催予定。

A	年度目標90%以上達成
B	年度目標75%以上達成
C	年度目標50%以上達成
D	年度目標50%未満

平成27年度 南区地域福祉計画アクションプラン(2015～2020)  
南区福祉分野別計画評価表

分野別区分	障がい福祉
大項目	障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち
小項目	障がいのある人と地域が交流できるまち

課題	取り組み内容	小項目に対する 年度評価	今後の課題等
地域の人たちへの障がいに対する 理解と地域の受け皿づくり	地区社協2地区(新飯田, 大通)で障がい者へ多世代交流や昼食会の行事の参加案内を行った。 全地域で情報発信するところまで至らなかったが、障がい者が地域の行事に参加できるよう今後も情報発信に努める。	C	各関係機関へ情報発信を行う

A	年度目標90%以上達成
B	年度目標75%以上達成
C	年度目標50%以上達成
D	年度目標50%未満

平成27年度 南区地域福祉計画アクションプラン(2015～2020)  
南区福祉分野別計画評価表

分野別区分	障がい福祉
大項目	障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち
小項目	自立支援体制の充実

課題	取り組み内容	小項目に対する 年度評価	今後の課題等
地域の課題の解決に向けて話あえる環境の整備の 推進	南区保健医療福祉のつながりを深める会で9月と2月の2回、100人程度の参加者で研修会を行った。また年4回自立支援協議会を開催し、それぞれ他業種の横のつながりができ、情報共有ができた	A	今後も地域の課題等について情報共有が必要

A	年度目標90%以上達成
B	年度目標75%以上達成
C	年度目標50%以上達成
D	年度目標50%未満

平成27年度 南区地域福祉計画アクションプラン(2015～2020)  
南区福祉分野別計画評価表

分野別区分	障がい福祉
大項目	障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち
小項目	わかりやすい福祉情報の提供

課題	取り組み内容	小項目に対する 年度評価	今後の課題等
障がいのある人が安心して外出する、バリアフリー情報が不足している	・南区ふれあい福祉マップ作成委員会で、民生委員等と駐車場、スロープ、点字ブロック、トイレ等を確認しながら現地を歩き、トイレマップを作成し400部障がい者へ配布した。	B	・マップへの情報の追加, 活用 ・福祉新聞の発行について予算, 作成者, 内容等の課題があり検討が必要

A	年度目標90%以上達成
B	年度目標75%以上達成
C	年度目標50%以上達成
D	年度目標50%未満

平成27年度 南区地域福祉計画アクションプラン(2015～2020)  
南区福祉分野別計画評価表

分野別区分	高齢者福祉・介護者支援
大項目	高齢者が安心して暮らせるまち
小項目	高齢者・介護者を支えあうまちづくり

課題	取り組み決内容	小項目に対する 年度評価	今後の課題等
地域力の弱体化(人間関係が希薄になり、隣近所の様子がわからない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域からの要望により、地域での見守りを行う取り組みを南区社協・包括・南区役所などで支援し、1自治会(千日気かけ隊)で見守り体制を構築。</li> <li>・区及び圏域のケア会議を確実に実施し、多職種の顔の見える関係づくりや地域課題の洗い出しや解決方法を検討。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域力の再構築が求められており、一部の地域では、何とかしようという動きがあるが、全体的にみると、まだ、互助による助け合いの意識醸成が不足している。住民主体の見守りや支え合いのできる自治会・町内会を増やす必要がある。</li> <li>・地域包括支援センターの認知度は少しずつあがってきてはいるものの、まだ不十分な状態である。</li> <li>・介護教室も各日常生活圏域で開催が可能となったが、参加人数にばらつきがあり、ニーズにあった内容とすることや、周知方法を再考する必要がある。</li> </ul>
地域包括支援センターの認知度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回「南区だより」に高齢者の相談窓口として情報を掲載</li> <li>・茶の間訪問時やさわやかトーク宅配便開催時にPR</li> <li>・医療機関等にポスターを掲示</li> <li>・区内スーパーで行う高齢者出張相談会開催時にのぼり旗を使用してPR</li> </ul>		
介護教室の参加人数	介護者教室の新たな委託先の開拓を行い、日常生活圏域毎に開催できるようにした。また、既存の委託先事業所は、実施回数や参加人数の増加に努めた。		

A	年度目標90%以上達成
B	年度目標75%以上達成
C	年度目標50%以上達成
D	年度目標50%未満

平成27年度 南区地域福祉計画アクションプラン(2015～2020)  
南区福祉分野別計画評価表

分野別区分	高齢者福祉・介護者支援
大項目	高齢者が安心して暮らせるまち
小項目	高齢者の健康づくり・介護予防の推進

課題	取り組み内容	小項目に対する 年度評価	今後の課題等
生活習慣病の予防と早期発見につながる特定健診の高齢者層の受診率、後期高齢者健診、各種がん検診は、低い状況	大通・味方・庄瀬地域での健康づくり講座を開催し、継続した運動習慣へつながった人も出ているが、区全体からすると、まだ少ない状況。地域での運動サークルもあり、教室参加者の4割は、すでに運動実践者。健診受診率は微増。	A	健診受診率を劇的に高めるために、ミニドック型集団健診など、従来にはない新しい取り組みをする必要がある。 生活習慣を改善するために、区民への強力な働きかけが必要。
生活習慣では、飲酒・喫煙率が高く、運動の習慣がある人が少なく、このままでは生活習慣病の発症が危惧される	健康づくり講演会や元気アップ講座は各地区で実施し、地区保健会の支援を行ったが、まだまだ飲酒・喫煙率が高く運動習慣のある人は少ない状況にある。		

A	年度目標90%以上達成
B	年度目標75%以上達成
C	年度目標50%以上達成
D	年度目標50%未満

平成27年度 南区地域福祉計画アクションプラン(2015～2020)  
南区福祉分野別計画評価表

分野別区分	高齢者福祉・介護者支援
大項目	高齢者が安心して暮らせるまち
小項目	認知症の予防と対策

課題	取り組み内容	小項目に対する 年度評価	今後の課題等
認知症高齢者の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳の健康教室「楽しく能力アップ塾」を1講座(22回)実施し、講座参加者のレベルは改善されたが、まだ区内全体をみると参加者は少ない。</li> <li>・地域包括支援センターやボランティアにより、南区で初めての認知症カフェが誕生。認知症やその家族の通いの場となった。</li> <li>・キャラバンメイトの連絡会を立ち上げ、定期的な開催に繋げた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽度認知症も含め、認知症高齢者は確実に増加しており、地域での見守りや、専門職による初期集中支援の対応が求められている。</li> <li>・認知症予防教室への参加者は12人(30人定員)と少なく、元気高齢者や初期症状を有している人へ参加勧奨をするが、まだ大丈夫と参加に至らないため区民への啓発が必要。また区内1会場のため、参加者が限定される。</li> <li>・キャラバンメイトの活躍方法を、立ち上げた連絡会を通して定期的に検討していくほか、より多くの地域の方々にサポーターとなってもらい、認知症を正しく理解するとともに認知症の人やその家族を温かく見守る体制が必要。</li> <li>・認知症カフェの定期的な開催と安定した運営。</li> </ul>
認知症の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーター養成講座について、区役所からの積極的な周知は実施できなかったが、日常生活圏域ケア会議等を通して、必要性を理解してもらい、全区で3番目に多い回数(22回)を実施。小学校、中学校、高校、企業など広い範囲で行われた。</li> </ul>		

A	年度目標90%以上達成
B	年度目標75%以上達成
C	年度目標50%以上達成
D	年度目標50%未満

平成27年度 南区地域福祉計画アクションプラン(2015～2020)  
南区福祉分野別計画評価表

分野別区分	地域づくり
大項目	私たちが支えあい、助けあうまち
小項目	地域のボランティア活動の場発信と活動支援

課題	取り組み内容	小項目に対する 年度評価	今後の課題等
ボランティア団体の連携が弱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白根健康福祉センターボランティアルームの活用団体が1団体増え定期的な活用により団体同士の連携ができるようになった。</li> <li>・利用者協議会準備会が開催され、ボランティアルームの活用を図る機会が増えた。</li> <li>・ボランティア活動内容を区社協だよりやホームページで紹介することによりボランティア団体の情報発信を行った。</li> <li>・情報紙南区ボランティア・市民活動センターだよりを新たに発行し、ボランティア団体、公民館等に配布した。</li> <li>・ボランティア団体(代表)の交流会開催による情報集約し、連携体制の構築ができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・市活動センターと健康センターの連携により他の団体との連携をしボランティアルーム活用団体の増加を図る</li> </ul>
次世代のボランティア育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・市民活動センターが講座、研修会(公民館共催含む)を開催し、おもちゃDr、傾聴ボランティア団体の新規に立ち上げにつながった。</li> <li>・ボランティア・市民活動センターが、ボランティア活動を行うために必要な事項を内容とした登録ボランティア研修会を開催した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・南区のニーズに合ったボランティアの育成</li> </ul>
あらゆる世代への福祉教育による住民の支えあい意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内小中学校の総合学習の時間を利用し、福祉教育の充実を図った。(小学校7校、中学校1校)</li> <li>・教育コーディネーターに対し、大人向け福祉教育の内容研修を行った。(研修内容 車いす体験、高齢者疑似体験)</li> <li>・災害ボランティアセンター設置訓練開催した。(参加対象コミ協、地区社協、行政)</li> <li>・災害ボランティアセンター検討委員会開催し、センター立ち上げや運営について検討した。(毎月1回)</li> <li>・中学生ボランティア交流会にて避難所運営ゲームHUGの開催(全中学校代表者27名参加)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもだけでなく、広く福祉教育を展開する</li> <li>・大人向け福祉教育(企業、地域など)</li> <li>・災害時におけるボランティアセンターの重要性を広く地域住民に知ってもらう</li> </ul>

A	年度目標90%以上達成
B	年度目標75%以上達成
C	年度目標50%以上達成
D	年度目標50%未満

平成27年度 南区地域福祉計画アクションプラン(2015～2020)  
南区福祉分野別計画評価表

分野別区分	高齢者福祉・介護者支援
大項目	高齢者が安心して暮らせるまち
小項目	高齢者の閉じこもりや孤立の防止

課題	取り組み内容	小項目に対する 年度評価	今後の課題等
高齢者のみの世帯, 単身高齢者世帯の増加により, 高齢者の閉じこもりや孤立が増える	区社協だよりで, 把握している各地区のお茶の間・サロン実施団体の一覧を掲載し周知をした。 計画の取り組み以外で, 地区社協や民生委員が要 援護者を対象に昼食会, 配食サービスや友愛訪問 を実施し, 状況把握につながっている。	C	地域の見守りを含めた活動を紹介をし, 外出を促 す。 お茶の間・サロンの自主運営(参加者全員で運営す るお茶の間・サロン作り) 新しい形のお茶の間・サロン作り支援(多世代参加 型) 世代間交流 助成金に頼らない運営 代表者のスムーズな引き継ぎ
居場所づくりは進んでいるが、「男性の参加者が少ない」「世話人の確保」等が課題	区社協が, お茶の間・サロン運営や代表交代に対 し, 引き続き運営してもらえるような助言等支援を 行った。		
誰もが参加でき, 多世代が交流する居場所が望ま しいが, 中間世代の参加が少ない	区社協が, お茶の間・サロン研修の中で相談を受け た時に地域のつながりを深めるために, 多世代交流 の取り組みや助成制度について説明し, 多世代交流 を促した。		
交通手段が乏しく, 高齢者の活動範囲が制限されて いる	一部のお茶の間・サロンでは, 利用者同士で送迎を 行い, 交通手段の無い方もお茶の間・サロンへ参加 できるようになっている。		

A	年度目標90%以上達成
B	年度目標75%以上達成
C	年度目標50%以上達成
D	年度目標50%未満

平成27年度 南区地域福祉計画アクションプラン(2015～2020)  
南区福祉分野別計画評価表

分野別区分	地域づくり
大項目	私たちが支えあい、助けあうまち
小項目	地域の茶の間・ふれあいきいきサロン活動の支援

課題	取り組み内容	小項目に対する 年度評価	今後の課題等
傾向として参加者女性のみまたは女性がほとんどで、また自力歩行による会場への困難となっている。	一部のお茶の間・サロンでは、利用者同士で送迎を行い、交通手段の無い方もお茶の間・サロンへ参加できるようになっている。	C	地域の見守りを含めた活動を紹介をし、外出を促す。 お茶の間・サロンの自主運営(参加者全員で運営するお茶の間・サロン作り) 新しい形のお茶の間・サロン作り支援(多世代参加型) 世代間交流 助成金に頼らない運営 代表者のスムーズな引き継ぎ
10年～15年続いている茶の間の代表の代替わりの時期となっている。	区社協が、お茶の間・サロン運営や代表交代に対し、引き続き運営してもらえるような助言等支援を行った。		
サロン・お茶の間独自開催できないところがある。	交流会等を通じて、お茶の間・サロン同士間で、他のお茶の間運営についての情報交換を行った。サポートに入っている各関係機関(区社協、包括、保健師)が自主運営に向けた助言を行った。		
参加者の人数が少ないところは、助成金の活用が難しい。(概ね10人以上の参加者が必要)	区社協が、お茶の間・サロン運営助成金申請に関する説明をお茶の間・サロン・ボランティア交流会、お茶の間・サロン研修会中で年3回行った。		

A	年度目標90%以上達成
B	年度目標75%以上達成
C	年度目標50%以上達成
D	年度目標50%未満

平成27年度 南区地域福祉計画アクションプラン(2015~2020)  
南区福祉分野別計画評価表

分野別区分	地域づくり
大項目	私たちが支えあい、助けあうまち
小項目	災害時要援護者支援体制の充実

課題	取り組み内容	年度評価	今後の課題等
災害時要援護者支援体制について、災害時要援護者名簿の取扱について	自治会・町内会長の交代により、災害時要援護者名簿を引き継ぐ際、毎年自治会を対象に説明会を開催している。	A	円滑な役員交代時の引き継ぎが重要となるため、説明会、防災訓練などの機会に自治会・自主防災組織に確認していく。
地域の助け合い意識の向上	各自主防災会での要援護者支援訓練の実施(23自主防災組織中17組織が実施)		

A	年度目標90%以上達成
B	年度目標75%以上達成
C	年度目標50%以上達成
D	年度目標50%未満